

【第6報】院内での新型コロナウイルス感染者の発生と診療体制

令和4年8月18日（木）、当院入院中の患者さんから新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。それ以降、高知市保健所へ状況報告すると共に該当する病棟職員および入院患者さんのスクリーニング検査を順次、実施する等の感染拡大の防止に全力で取り組んでまいりました。

院内の感染拡大も徐々に収束し、本日（9/13・火）最後の陽性患者さんが無事に解除され、完全収束に向け1週間の経過観察期間に入っているところです。

患者さんやそのご家族をはじめ、地域の皆様、医療関係者の皆様には大変なご心配とご迷惑をお掛けし、申し訳なく存じます。

職員一同、引き続き、気を引き締め完全収束に向け全力を挙げております。

何卒、皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

なお、現時点（9月14日（水）、赤字下線分が変更点）での診療体制は、以下です。

■外来診療

・通常通り、診療しています。

■外来リハビリテーション

・通常通り、行っています。

■有熱外来（成人）

・規模を縮小し、継続しています。

■救急外来

・受入れ停止中です。

■入院・転院

・9月14日（水）より、全ての病棟の新規入院を再開しています。

■新型コロナワクチン接種

・通常通り、行っています。

■健診センター

・通常通り、行っています。

変更等がありましたら、当院ホームページ上でお知らせします。